



## ～地域包括ケア病棟から地域をデザインする～

発行元：地域包括ケア病棟“彩り”・リハビリ科・地域医療連携室

## リハビリに関する用語の整理について

## ～ 入院生活の質向上のために ～

地域包括ケア病棟“彩り”では、リハビリに関する様々な用語を使っています。皆様との連携に役立てるため、リハビリに関する用語を整理したいと思います。

\*

地域包括ケア病棟“彩り”でのリハビリテーションには、①疾患別リハビリ ②生活リハビリ ③集団体操があります。リハビリテーション科内ではそれぞれのリハビリの内容について整理していましたが、院内の他職種には浸透していませんでした。そのため、集団体操のことを生活リハビリと呼んでいるスタッフや、疾患別リハビリと生活リハビリの違いが明確でなかったため、情報交換する際に上手く伝わらず、スタッフ間で混乱をきたすことがありました。そこで、7月より下記のように用語を整理しました。現在では、職種間での混乱はなく、情報交換がスムーズになっています。（リハビリ科 主任 理学療法士 橋詰 あや）

## ①疾患別リハビリ

脳血管・運動器・呼吸器・心大血管（心臓）・がん・廃用症候群の6つの疾患別に対応したリハビリテーションに分かれる

- ・目的：身体機能・ADL向上訓練などを実施、在宅復帰を目指す
- ・時間：1日2～3単位（40分～60分）
- ・対象：在宅復帰・回復期リハビリ病院転院予定・レスパイト患者さん

## ②生活リハビリ

日常生活に着目したリハビリテーション

- ・目的：身体機能・ADL・移動能力を評価し、機能維持を目指す
- ・時間：週に2～3回程度短時間
- ・対象：療養型病院・老健・特養入所予定・レスパイト患者さん



## ③集団体操

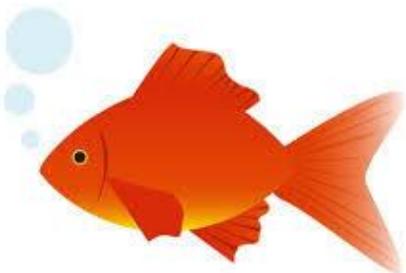
ストレッチ・筋トレ・脳トレを含んだ体操をセラピストと一緒に行う

- ・時間：平日11時15分～11時45分の約30分
- ・場所：8階デイルーム
- ・対象：歩行・車いすでデイルームまで入室できる患者さん
- ・参加者はスタンプカードにスタンプを押してもらう



## 老健やましろより

### ～ 名物の金魚について ～



老健やましろの1階の地域交流スペースには、名物の金魚が泳いでいます。平成29年の夏、入所者様のご友人が「近所の夏まつりの金魚すくいですくってきたので老健で飼ってほしい」と持ってこられた金魚です。当時は3cmほどの赤いかわいらしい金魚でしたが、この2年間でどんどん成長し、今ではなんと15cmを超えるほどにまで成長しました。

地域交流スペースは、利用者様とご家族が入所フロアから離れてゆっくりと団欒をされる場所でもあります。フロアから降りてこられる利用者様の中には、『また大きくなったなあ。』と、毎回金魚を見るのを楽しみにされている方もおられました。

特に子どもさんには人気があり、面会に来られる子どもさんや、毎月入所者様のとの交流で来所して下さる愛光こども園の園児さんたちも、『大きいお魚!!』『でっかい金魚!!』と目を丸くして金魚を見てくれて、そこでスタッフとの会話も弾みます。

来週は、老健やましろでも夏まつりを開催します。入所者様、ご家族、スタッフみんなで楽しいひとときを過ごしたいと思っています。(老健やましろ 管理部長 三村 裕子)

## ざんねん・・・。

7月27日(土)に開催が予定されていた木津川市の花火大会を、入院患者さんに病棟から鑑賞して頂こうと、病棟看護師が企画していましたが、残念ながら中止となってしまいました。来年に持ち越しです。10月には秋祭りを企画しています。秋祭りの準備のため、患者さんには折り紙で輪を作って頂くなど、無理のない範囲で手伝って頂いています。(南出)

## 地域包括ケア病棟“彩り”で受け入れした事例の紹介(第41回)

### ～ 患者さんへの理解を深める ～

歩行困難の精査目的で当院急性期病棟に入院されました。精査が終了し、さらなるADLの拡大を主な目的として、地域包括ケア病棟“彩り”に転棟して頂きました。

急性期病棟では、U字型の歩行器を使って歩行訓練を行っておられましたが、大きなU字型歩行器は、退院後の生活場面で使用するには現実的に難しいため、“彩り”転棟後は、退院後の生活をイメージし、担当の理学療法士と相談し、歩行器をセーフティアームに変更しました。また、病棟NsやMSWが、セーフティアームを使用した歩行訓練に付き添ったり、“彩り”に転棟してこられたその日から、昼食前に実施している集団体操への参加を促しました。

歩行訓練に付き添いながら、患者さんが以前されていた仕事のことや住まわれていた土地のことなどをお聞きし、私の知らないことを教えて頂くことが私自身の新たな学びに繋がっていますし、患者さんのことを深く理解する一助となっています。

環境を整え、8月中の退院を目指しています。もうしばらく患者さんの歩行訓練に付き添いながら、患者さんへの理解を深めたいと思っています。(地域医療連携室 室長 南出 弦)